

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：川島保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：川端 ゆり佳	定員（利用人数）： 60（70）名	
所在地：横浜市保土ヶ谷区川島町870		
TEL：045-373-1482	ホームページ： <a href="http://kawashimahoikuen.jp/">http://kawashimahoikuen.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1973年8月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 なつめの会		
職員数	常勤職員： 16名	非常勤職員 4名
専門職員	園長・副園長 2名	保育士 14名
	主任・副主任 2名	子育て支援員 1名
施設・設備の概要	乳児室(1～2歳児室) 2室	トイレ 4室
	幼児室(3～5歳児室) 2室	事務室 1室
	調理室 1室	職員休憩室 1室
	木造プレハブ造り平屋建て	園庭 366.57㎡

## ③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】 ひとりひとりの個性を大切にする保育</p> <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えて行動する子（自発性・知的好奇心）</li> <li>・たくましく生きる子（社会性・自立性）</li> <li>・思いやりのある子（優しさ）</li> </ul> <p>【保育の目標】</p> <p>ひとりひとりの個性を大切に、さまざまな体験を通して生きる力と豊かな感性を養うことを心がけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を十分に発揮しながら生活できるようにし、自主・協調などの社会的態度の基礎を養っていきます。</li> <li>・自然や社会のことがらについて、興味や関心をもたせていきます。</li> <li>・いろいろな表現活動を通して創造性を養っていきます。</li> <li>・保護者とのコミュニケーションを大切にし、子育ての楽しさを分かち合いながら、協力し合える人間関係を築いていく。</li> </ul>
--

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>川島保育園は、相鉄線西谷駅から徒歩17分、閑静な古くからの高台住宅地に位置しています。近くには帷子川が流れ、水田「元気村」や陣ヶ下溪谷、子どもログハウス、川島町公園野球場等があり、豊かな自然に囲まれた環境にあります。社会福祉法</p>
--

人なつめの会が、平成31年4月に横浜市から民間移管を受け、3年目の保育園です。園舎は木造プレハブ平屋建てで、園庭は366.57㎡あり、1～5歳児70名（定員60名）が在籍しています。

【園の特徴】

- ・保育理念で「ひとりひとりの個性を大切にする保育」を謳い、子どもを主体に考えた保育を行っています。
- ・定員以上の子どもを受け入れる一方、横浜市の配置基準以上の職員を配置し、保護者との連携を密に図るとともに、職員にとっても働きやすい職場環境を作っています。
- ・園長、主任が、障がいのある子どもの保育についての造詣が深く、毎月個別支援計画を作成するなど丁寧な保育を行っています。また、障がいのあるなしに関わらず、「共に育ち合うことの大切さ」が実感できる保育を心がけています。
- ・ICTを積極的に活用して、業務の実効性や保護者の利便性向上、職員の負担軽減を図っています。また、コロナ禍の状況下で、WEB上での懇談会開催やお楽しみ会のライブ配信、職員のオンライン研修等にもICTを活用し、子どもの成長を保護者と共有したり、職員の質を向上させるために役立てています。
- ・設置法人の規模拡大に伴い、運営・管理体制の整備を計画的に進めています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年 4月 1日（契約日） ～ 2021年11月29日（評価結果確定日） qa
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもの興味や関心を捉えた環境構成と援助の工夫

子どもがやりたいことを自分で決められることを大切にしています。子どもの目線に合わせた低い棚に、おもちゃや空き箱、どんぐり、小枝、雑紙等の様々な素材、手作りの自由画帳等を用意して、子どもが自由に出し入れして遊んだり、好きな素材で自由に制作したり、好きなだけ絵を描いたりすることができるようにしています。

園の夏祭りでは、5歳児クラス子どもたちがアイデアを出し合い、話し合いをして、自分たちの好きな絵本の「たこやん」のお神輿を作ることになりました。5歳児が廃材でパーツを作ったり、絵の具を塗ったり、3、4歳児がお神輿につける波しぶきや提灯を作ったりと意欲的に取り組み、みんなで協同してお神輿を完成させています。

また、散歩時にゆっくり歩いて、初めて見る虫やアリの行列を観察して見つける楽しさを味わったり、捕まえた虫を図鑑で調べて飼育したりして、自然に対する興味を深めるようにしています。

2. 栽培活動を通じた食育

園舎の裏の畑で、3歳児はさつまいも、4歳児はじゃがいも、5歳児はピーマン、おくら、ミニトマト等いろいろな野菜を育てています。子どもたちが、野菜の種を買いに行ったり、種芋の植え付けや種まきを行ったり、毎月野菜の写真を撮って模造紙に貼り成長を記録したりすることにより、野菜に興味・関心を持つようにしています。また、水やり、草むしり等の世話を通して野菜に愛着や親しみを感じたり、収穫の楽しみ・喜びを感じられたりするようにしています。収穫後は、ミニトマトと餃子の皮

でピザを作って食べたり、2種類のピーマンを食べ比べたりして、調理の楽しさや食べる喜びを味わえるように取り組んでいます。

保土ヶ谷区から種芋が配付された「ほどじゃが」を、収穫後調理して食べたり、園庭の八重桜をさくら茶にして味わうなど地域の食文化も取り入れています。

栽培活動を通じた食育は年間を通じて行っています。

### 3. 「ステイトメントブック（職員携帯用の業務の手引き）」の活用

園では、理念・児童憲章・倫理綱領・就業規則・職員の基本行動等を一冊にまとめた「ステイトメントブック」を作成し、非常勤職員を含めた全職員に配付しています。翌年度に向けた法人全体研修で「ステイトメントブック」の読み合わせを行い、理念や保育方針、子どもの人権、保育マニュアル等の再確認を行っています。また、新入職員の電話話法等の研修テキストに使用するとともに、職員は「ステイトメントブック」を常時携帯し、不明な点は保育中に随時確認を行うなどして活用しています。

横浜市から民間移管されて3年目で、職員の経歴も様々であり、園では「ステイトメントブック」等を利用して、職員の保育に関わる思いを一つにするよう取り組んでいます。

◇改善を求められる点

#### 1. 地域子育て支援事業への積極的取組と周知

地域の福祉ニーズに基づく地域子育て支援事業である育児相談や育児講座、園庭開放等の活動計画を作成し、掲示板やホームページで公表することが期待されます。

#### 2. 体系化された研修計画

今年度上半期の研修計画は作成されていますが、保育の質の向上に向け、年間を通じた体系化された研修計画の策定が期待されます。

## ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

川島保育園は平成31年に、社会福祉法人なつめの会が横浜市より民間移管を受けました。今年で三年目を迎える中で、川島保育園の保育を振り返り、保育の充実と質の向上を図るために課題を受け止め向き合っていくという思いから、第三者評価を受審することにいたしました。

以前第三者の受審経験のある職員、全く初めての職員がいる中で、職員全員が共通評価基準と内容評価基準のガイドラインを読み込み、自己評価表に職員一人一人が意見や疑問点、改善の提案等を記入しました。1つ1つの評価項目ごとに、職員それぞれが確認をする中で、改めて保育の見直しをする機会となりました。経験年数にかかわらず「保育の中で大切にしていることや大切にしたいこと」が共有され、環境の整備や保育内容の改善等につながりました。

今回の第三者評価の受審をし、優れている点や工夫をしている点等、職員一同大変励みになりました。より一層努力を重ね、保育の質の向上に向けていきます。いただきましたご意見やご要望については真摯に受け止め、職員全員で確認共有をして改善に向けた保育をしていきます。

関わるすべての子どもたちの最善の利益を第一に考え、今後も保育に取り組んでまいります。

最後に、第三者評価の受審にあたりご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙にもかかわらず利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

社会福祉法人なつめの会  
理事長 川端

- ⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり